

平成 2 9 年度学校運営計画書

学校名 和歌山市立今福小学校 校長名 亀位直規 作成日 平成29年4月28日

学校教育目標

健康で豊かな情操と創造的実践力のある子どもの育成

育てたい子ども像

○心身共に健康な子ども




○豊かな情操をもつ子ども

○学ぶことの楽しさや喜びをもてる子

開かれた学校

ゆたかな心

確かな学力

			
本年度の重点目標	安心・安全の学校 地域との連携	道徳教育・人権教育の充実 異年齢の子どもの関わり方の推進 特別支援教育の充実	体育学習研究及び言語活動の充実 学力補充時間の確保 朝の読書タイムの実施 紀州っ子学びノートの活用 家庭学習の充実
目標達成に向けた具体的な方策	地域・保護者・学校が一体となり、子どもが安全で生き生きと学べる学校を築く。 学校の教育活動を地域や保護者に情報発信する。(学校日より・学年日より・学級日より等を配布。) 地域の方々に今福まつりや登校指導等へのご協力をしていただき、子どもたちの健全育成に努める。 挨拶運動や地域の公園清掃、また防災教育等を通して、子どもが地域の一員であることの自覚を高められるように努める。 共育ミニ集会をもち、地域連携をより一層図る。	「私たちの道徳」を活用する。授業を通して、人権尊重への認識を一層高め、思いやりの心をもった子どもを育てる。 縦割り活動を行い、高学年が低学年を思いやる心を培う。また、個と集団の望ましい関係を築き社会性を育てる。 現職教育「今福の子」で子どもの実態を検証し、全職員で共通理解を図り指導にあたる。 一人ひとりの子どもの実態に応じた、支援体制を確立する。	体育科の研究授業等を通して授業の工夫・改善に取り組むとともに、子どもたちが楽しみながら継続的に運動できることをめざす。 また、各教科において言語活動の充実を図る。 全学年において「朝の読書タイム」を実施し、読解力を伸ばす。また、曜日を設定し学びノートを活用する。 放課後は、学年に応じて漢字・計算等の基礎学習の定着を図る。さらに高学年は水曜日5限に基礎学習の定着をより一層図る。 家庭学習について、各学年に応じた内容を出題し学力の定着を図る。 家庭で親子読書に親しみ、ことばの力を育てるとともに豊かな心を育む。